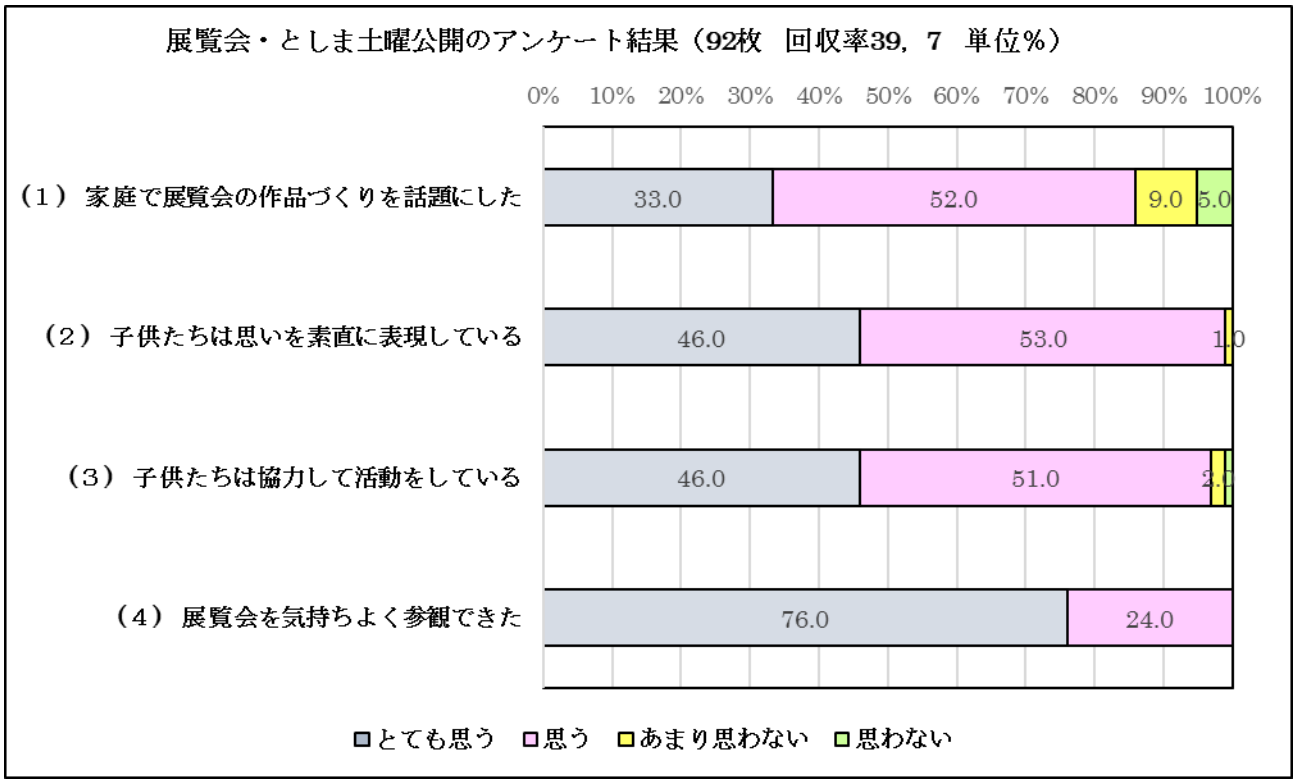
平成２７年１１月１９日

保　護　者　様

豊島区立西巣鴨小学校
校長　叶　雅之

11月の展覧会・としま土曜公開のアンケートから

１１月１３日（金）、１４日(土)に行った展覧会、としま土曜公開では、約４００名の方に参観していただきました。ありがとうございました。公開後に一般から７枚、各家庭からアンケートを９９枚（全家庭数 232、回収率は 42.7%）ご提出いただきました。展覧会では、ペア学年での鑑賞を行い、上級生が下級生に作品づくりの説明をし、作品のよさを互いに認め合うなどの姿がありました。幼稚園から６年生までの８年間にわたる成長の姿も見ることができ、子供たちにとっても、思い出に残る催しとなったと思います。また、つながるアートでは、保護者の皆様、地域の皆様の協力もいただき、ありがとうございました。今後とも教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。展覧会の感想や意見が多くなりましたが、皆様のアンケート結果の一部を紹介いたします。



＜集計から＞

アンケートは回収率が約 43%と、少なかったです。「展覧会を気持ちよく参観できた」は、100%全員の方から「とても思う」「思う」の肯定的な評価をいただきました。「子供たちは自分の思いを素直に表現している」は 99%の方から、「子供たちは協力して活動している」は 97%の方から肯定的評価をしていただきました。ありがとうございます。「家庭で展覧会の作品づくりを話題にした」は、展覧会をよい機会として、褒めるなど親子の会話につなげていただきたいと考えての設問です。85%のご家庭で、話題にしていただきました。ご協力ありがとうございました。

会場準備、片付け等には、６年生が活躍をしました。全校児童朝会で、活躍ぶりを褒めました。

＜保護者の感想、意見から(抜粋）＞

○１年生の我が子に案内されて展覧会を鑑賞しました。何年生はどんな作品で、自分はどの作品を良いと思ったかなど、きちんと説明してくれて、事前の丁寧なご指導を感じました。良い作品を作るのはもちろんですが、鑑賞の仕方やマナーもとても大切だと感心しました。

○体育館では、１年生と６年生が一緒に作品を見に来ました。６年生はしっかりと１年生の面倒を見ながら作品を見て回り、感想を書くところまで、ちゃんと見守っていて、見ていてうれしくなりました。
○体育館いっぱいに展示物があり、準備など大変だっただろうなと感じました。６年生が１年生に説明をしている姿がとても頼もしく、優しく立派でした。自分の椅子に座らせてあげたり、他学年の展示物も、作り方なども「多分～作っているよ」などと丁寧に説明をしてあげたりしていました。
○どの作品も素晴らしく、作っている過程もビデオや写真で見たいなと思いました。つながるアートは、下の子も楽しめてとてもよかったです。１年生のお店屋さんは、楽しそうで、かんばっていました。
○お店屋さんではどんぐりや廃材を使った作品で、工夫して考えて作った一人一人の個性に驚きました。
○一点一点見応えがあり、とても楽しく見ることができました。たけのこさんのアルミ箔で型を作り、色鮮やかな作品は、とても印象に残りました。
○お店屋さんでは、子供たちが威勢よく声が出ていて、楽しんでいる感じがして、気持ちが良かったです。展覧会の作品は、見入ってしまう作品ばかりで、頑張って制作した様子を想像して楽しめました。
○初めての展覧会の作品は表現力豊かで色使いもきれいに仕上がっていました。自宅でも絵を描いたり、何かを作ったりして、自分の好きな分野だったと思います。飾り方も見やすく良かったです。
○展覧会鑑賞の後、６年生が１年生を教室に送り届けて「ありがとうございました」と言って、教室を後にする姿に感心しました。本当なら１年生がお礼を言うべきなのに…。先生の「６年生にお礼はしたの？」という声かけで、１年生もありがとうございましたとお礼を伝えていました。このような日々の積み重ねが、６年生の行動に表れていて、立派だと感心しました。
○展覧会に観に来てほしいと言ったのは、みんなで作った「アイスワールド」でした。みんなで作ったものが完成して一番うれしかったのだろうなと思いました。素敵な作品ばかりでした。
○体育館中がすごく素敵な空間になっていて良かったです。作成中も家でいろいろと話をしてくれたので、子供も楽しんで作成していたのだと思います。次の展覧会が楽しみです。
○国語で、作品発表を見学しました。お互いに良いところを伝えるというのが素晴らしいと感じました。
○音楽では、ハーモニカがうまく吹けない友達をみんなで教え助け合っていて、素晴らしくかんばっていました。ウィズ・ユー・スマイルは良い曲ですね。
○会場のレイアウトが良く、体育館に入った瞬間、おとぎの世界に入り込んだ気分になりました。
○息子と見るのが楽しく、どの学年の作品もすごいところを案内してくれ、大人では気付けないポイントを感じました。異学年の友達の説明も聞き、学年を超えた交流が盛んな様子を嬉しく思いました。
○自分の子供も、知っている子も、作品にその子の性格や意外な一面が出ていて、面白かったです。
○授業の「友達の良い所探し」や地域の方の紙芝居を見せてもらうことを通して、友達を大切にする気持ちや住んでいる地域に興味をもち、知ろうとする気持ちが育ってほしいと思いました。
○４年生のアスレチックは、作品も楽しそうに作ってあり、実際に行ってみたい気持ちになりました。
○以前よりのびのびとした絵が描けるようになったと思います。物を作る楽しさが分かってきたのかも知れません。ご指導ありがとうございます。
○両日とも夕方まで鑑賞でき、普段いけないお父さんも行くことができました。
○家に持ち帰って作品を創ることもあり、課題に主体的に取り組んでいました。作品を披露する機会があることが励みになっていたようです。
○土曜日の午後に子供と一緒に見学し、作っている時のことなどを聞き、先生と楽しんで作り上げたことを知ることができました。ありがとうございました。
○展覧会のペアグループ参観では、子供たち同士で作品に対しての自分の意見を交換する場面があり、どの作品も興味深く見ているのに、感心しました。
○若干不器用なわが子が「僕の作品見た？どうだった？」と笑顔で尋ねてきました。本人もできる力を出し切って作った世界に一つの作品。家に持ち帰るとうれしそうに眺めていました。廊下を走る子がいたのがちょっと残念。

